

発行人 福井県市庁舎 高野 幸三
編集 美山 市役所 柿野 謙

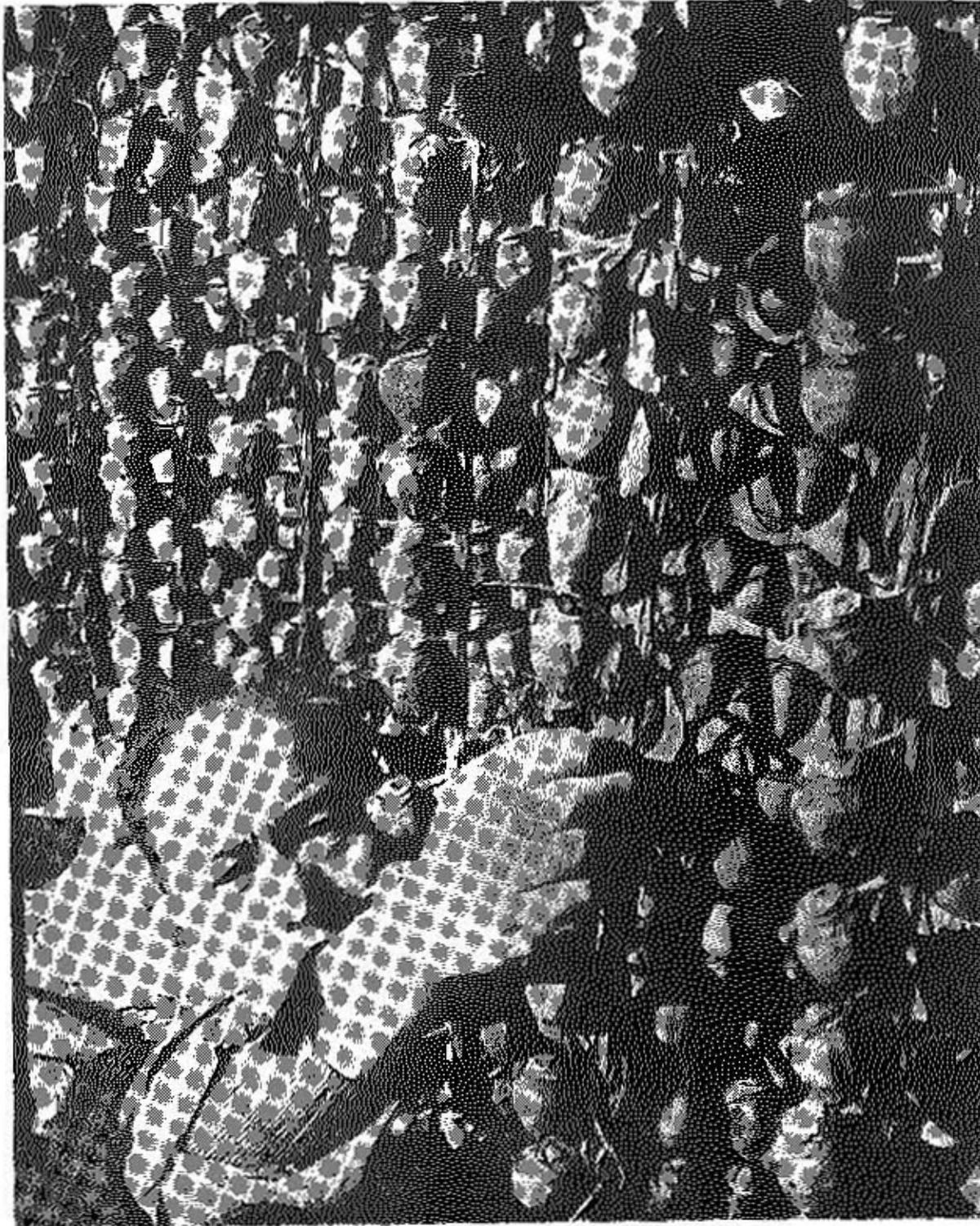
かつやま

市 広 報

交通安全

宣言都市

青少年愛護



串柿づくりたけなわ

秋の風物將鹿谷名園串柿づくりは今たけなわ。色づいた柿の皮をむき竹ぐしに五個ずつさし荒縄で十本ずつまとめてつるすことは柿の不作の年だが、農家では大事な副業です。正月のしめ飾り用として鹿谷町から毎年約九万本が出荷されています。

12月のこよみ

- 4 福井県統計大会 市民会館
- 7 決算指導講習会 市民会館
- 6 新成人の健康検査 勝山保健所
- 8 無医地区診療
- 10 県教委の市町村教育訪問指導 市役所

- 12~14 市内小中学校書写習字作品展 市民会館
- 16 市民組合相談 市民会館
- 17 民生児童委員研究会 市民会館
- 19 保育所のつどい 市民会館

繊維不況に五千万円など

九月定例市会で九議案を可決

市長選挙で選んでいた九月定例市議会が高野新市長と藤田新市会議員を迎え、十月二十九日から十一月五日まで八日開議されました。

議会は、最初に市補欠選挙で当選した藤田市議員の紹介があったあと、高野新市長より「市民の融和と理解相互信頼のもとに民主政治を基本として、積極的に市政を進めていく。政策としては、①健全財政の維持の確保対策②産業振興③労働問題を中心に市の発展をはかる」と所信を表明しました。

ついで提案理由の説明があり、三十一日、十一月二日と一晩割、そのあと各委員会へ付託が行なわれました。四日・五日と各委員会や議案を審議の結果、土地開発基金条例など九議案を可決し一陳情を採択しました。議会で各委員会の審査報告と一般質問は次のとおりです。

総務委員会(土木委員長)

総務委員会に付託された「市土地開発基金条例の制定」ほか二議案を議案と取り可決。

建設委員会(百須委員長)

建設委員会に付託された「平泉寺七十二号線と北谷十九号線の市道認定について」ほか一議案は原案と取り可決。また市水道事業決算も議案なく認定し、北谷木根橋区長から出された部落内道路の市道編入の陳情を採択した。しかし「上長瀬船荷神社境内前橋通川敷を公設駐車用地とする」陳情は、複雑な問題があり、関係者との交渉を要し、再度審査をすることになり議案を議案に決定。

教育民生委員会(吉岡委員長)

教育民生委員会に付託された「不審物の指定校運動場の敷地について」の陳情を議案は否決と取り可決。火災・環境衛生・管理などの問題があり更に研究と調査を加えることになり議案を議案に決定。

全農畜産特別委員会(四谷委員長)

全農畜産特別委員会は、付託された「一般会計補正予算」と「財政再建計画の変更」について「二議案を原案と取り可決した。しかし補正予算に教育費の増大が多数になつてはいるが、当初予算編成時に物価・労賃等経済情勢をよく考慮して編成するよう意見が付けられた。また再議院審査になつてはいるが、是更に調査検討を加えることになり再び協議審査と決定。

主な議決事項

◆一般会計の補正予算額は九千四百八十八万九千九百九十九円

◆一般会計の補正予算額は九千四百八十八万九千九百九十九円。そのうち主たるものは、次のとおりです。

①公用施設などの土地の先着引き取得のための新設された土地開発基金を三二二

◆土地開発基金を設置

現在の社会情勢では学校や公園、保育所など都市計画・教育・福祉施設の建設には必要な公共用の土地をあらかじめ市で取得しておかなければ、土地がなくて事業がはかどらないことが予想されます。こうした公共用地を先きに買っておくため、新規新しく市に土地開発基金制度が設けられました。

基金の資金は三二二百万円で、市長はこの資金を確実に効果的に運用することになっていきます。

◆人権擁護委員に伊藤政治・山口第二郎さん

市の人権擁護委員に伊藤政治さん(56歳 羽町橋崎)と山口第二郎さん(70歳 野向町)がそれぞれ選ばれました。

◆借地・公舎などの問題で不当に人権を侵害する人権擁護委員は、結婚・離婚・扶養・相続

人権擁護委員は、結婚・離婚・扶養・相続借地・公舎などの問題で不当に人権を侵害する人権擁護委員は、結婚・離婚・扶養・相続

された人の相談に応じ、職を回復し、市固定資産評価審査委員会委員に野坂敬四さん

市固定資産評価審査委員会委員に野坂敬四さん(69歳 元町三丁目)が選任されました。

◆市公平委員に村井昭三郎さん

市の公平委員に村井昭三郎さん(42歳 木町二丁目)が新しく選任されました。同委員は松村算治さんが市外転出で、退任されたため欠員となっていたので、その後任として定められたものです。

公平委員は、市職員の給与や勤務時間その他の勤務条件に関する要求を審査、判定し必要な措置をとる。市職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対して議決または決定をする。その仕事をします。

明るく正しい選挙を

今回行なわれた市長選挙において多数の違反者が出て市民のみならずご迷惑をおかけしたことは誠に遺憾の極みです。

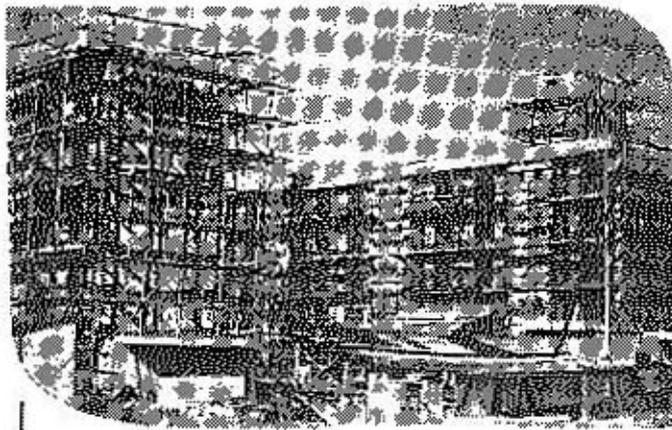
選挙は今さら申し上げるまでもなく有権者の自由と表明する意志により自己の権利を行使することであり、また民主主義の根本理念であることはご承知のとおりであります。

甚だ残念ですが今回の選挙においてそれが一部の人士であれ、これを無視される結果となつたことは、お互いが深く反省しなければなりません。市民生活に直接関係ある市政の発展は市民ひとりひとりの自覚と、その自覚から生れる良識如何にあり、我々勝山市民は今回の選挙で味わつた苦汁を今後の良識とし明るい郷土の実現を目指し努力しなければなりません。

明るく正しい選挙の実現は政治意識の向上以外にはなく、選挙管理委員会としても従来から各種団体と協力して啓蒙運動を続けてまいりました。しかし今後のこの運動の進め方についてもこの際改めて検討しなければならぬと痛感しています。しかしその基本はあくまでも有権者ひとりひとりの自覚なくしては如何ともできません。

市民のみならず来年は地方統一選挙、市議会議員選挙さらに市議会議員選挙と各選挙が予定されています。今回の選挙の汚名を返上する唯一の機会でもあります。明るく住みよい勝山市を実現するための全市民一丸となつて明るく正しい選挙の実現にご努力くださるようお願いいたします。

勝山市選挙管理委員会 委員長 天立 満



雇用促進住宅近く完成

雇用促進住宅が、三月完成を旨として、毛織地帯で工事が進められています。同住宅は人手の足りない地域の事業所に就職する方が、その地域で適当な住宅を得るまでの間、住めるように雇用促進事業団が国費で建設する施設です。

当市で建設中の同住宅は、鉄筋コンクリート五階建て二棟で、一棟に40戸計80戸です。一戸当りの間取りは6畳・4.5畳に台所・水洗トイレ・浴室付きとなつています。ご希望の方やお問い合わせは栄町1丁目公共職業安定所(電話8-1286番)へ。

- ・入居資格 公共職業安定所の紹介により他の同所管轄区域から勝山市内に常用労働者として就職し、次の三つの要件に該当する方。①就職地域に適切な住宅が得られない②月収が家賃の五倍以上で、家賃の支払い能力がある③扶養親族と同居する。
- ・家賃 = 4,500円~5,200円
- ・申し込み期日 = 12月1日~3月末日
- ・入居予定日 = 4月中旬

玉木議員 ①市長は所信表明で健全財政を維持すると言われたが、市税二億七千万円、交付税二億九千万円しかないのにと、このようにして事業を進める所存か。

市 長 ①の正視の視点は健全をみなさない。国の認められた補償を受けて事業を進めるのは当然の筋を言わねば、再建期間を短縮しないと事業がまわらず所存である。

玉木議員 ②の過剰対策として工場誘致を市政施策の一つにあげられたが、どのような規模のどんな産業を誘致する見通しがあるのか。長 ①の考えは極端ではない。当市にふさわしい、とくに男子労働力を必要とする産業を誘致しており、関東・関西・中京方面へ積極的に働きかける。

玉木議員 ③米の生産調整に対する対策を問う。

産経課長 ④当市の減反は割り当て数を上回って三〇一町歩となった。そのうち五十八町歩が野菜作りで転耕した。野菜では、早稲の枝豆は当市の風土に合わなかったが、早稲は良好である。本年は早

半の差別機を購入し出荷の処理にあてる。

玉木議員 ⑤福井新聞紙上に勝江市を除く六市が乳幼児の予防接種による事故発生の際に、市が責任を負うことを医師会と契約したと出ていた。その内容を問う。

厚生課長 ⑥医師会から申し入れがあったが、まだ契約していない。しかし特別の事情のない限り市長の責任とする。

山岸議員 ⑦の当面している職維不況対策はどうか。

市 長 ①の当市の基幹産業として発展するよう十分援助したい。他産業の誘致とともに考える。

九月市会の一般質問

建設課長 ①(1)重要か所から実施しているが計画的にやる必要があるためである(2)予算の範囲内で実施する(3)今後も手落ちなく行なう。

島田議員 ②の市内小中学校のPTAについて(1)会費徴収不足を訴えているが、調査をしたか(2)学校後援会的性格

産経課長 ③の原の工事についてはさき山崎光開路K・Kより離隔が出ており、常任委員会で現地調査と審議の結果本会議で採択をとっている。木材は、第一回目百七十七トン、九十五石を三千万円で、第二回目は百四十本、三十八石を二千万円でそれぞれ吉川製材と木下製材に隨意契約で売却した。

島田議員 ④の道路補修の部落中し入れについて(1)集中的に行なった理由(2)予算で可能なか(3)今後実施するの

が強いが本来の活動についてどう考えるか

教育 長 ①(1)実施している(2)父兄負担はないうようにしていきたい

松山議員 ②の南都中学の学区制はどう決めるのか。

教育 長 ③の市長とよく相談して決めた。

松山議員 ④の十月二十日発行の広報は文字が多い。新市長と前市長の就、退任あいつ記事の扱いに問題があるのではないか。

総務課長 ⑤の数字があつたことは申し訳ない。配布の段階で気がつき、%を回収し訂正して出したが、次号で訂正文を出す。新、旧市長あいつ記事の扱いについてはぜひ他意はない。

松山議員 ⑥の市有林が表彰を受けたがその資金十百万円の使途と処理を問う。

産経課長 ⑦の夫人賞や謝礼に支出し、現金は二万三千円程度ある。

松山議員 ⑧の教育長として現業職員の給与・待遇についてどのように考えているか。

教育 長 ⑨の決して高いとは思っていない。少くとも他市なみに持つていきたいと思う。

長谷川議員 ⑩の先日の市長選挙において多くの選挙違反者を出したが、選挙管理委員会は改正選挙の啓蒙をやったのか。

選挙管理委員長 ⑪の九月二日に立候補予定者の責任者に改正選挙の啓蒙をお願いした。九月十一日には違反が日立つつので調査に際して警察・選挙・改正選挙推進員長ら同席の上再び努力を要請した。

長谷川議員 ⑫の人事院勧告が出されたがそれに準じて特別職のベースアップも当然考えられると思う。職員報酬をどうしように考えているか。

市 長 ⑬の人事院等の意向を打診してできるものならやっていたい。

長谷川議員 ⑭の専決処分は法によりいちいち議会に承認を得なくてはならない定められているものであり、これが多くても市民不在の政治とは言えない。市長は今後件数や執行権に限度を設けるのかどうか。

市 長 ⑮の専決処分はなかに疑義があつてはならない。限度に制限は設けられないが、むやみにやらない。

藤田議員 ⑯の市の過剰対策を問う。過剰対策の審判機関の設置をどう考えるか。

市 長 ⑰の交通網の整理を重点に進めたい。お説のように市内の有線車を中心に過剰対策協議会を設け手落ちのないように進める。

藤田議員 ⑱の当市には十名以下の零細な工場や働く人が千五百人いる。これらの人は労働福祉では慮られていない。これに對する市の方針を問う。

市 長 ⑲のそれぞれの企業者の機関を通じて調査し、力を貸していきたい。

藤田議員 ⑳の都市計画事業や電話工事などの道路工事で市民は大迷惑を感じている。若し、完工時期など地元責任者に連絡をとって、工事が早く進むようできないのか

都市計画課長 ㉑のお説のとおりで、ご希望をどうよう今後注視する。

松村議員 ㉒の南都中学の敷地借上料一升三合は高過ぎる。他校はいくらか。

教育 長 ㉓の地代は学校建設費に充てられ、年々増えるので一定でない。旧村部では四一五合が地代である。全部を公平にするのは予算面にひびくので今後の課題として考える。

庶務課長 ㉔の南都中の民有地借り上げに際し、十九名の地主が主張した二升五合

を協議を重ねて一升三合に折り合せてもら

松村議員の男子労働者の工場建設は

松村議員の中学校で補修授業を行な

教育長にのるべくやらぬよう指

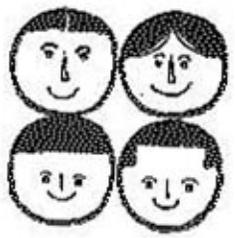
松村議員の電話工事の復旧はどう

建設課長にのる復旧は同々公社でや

武内議員の工場建設のため土地と男

産経課長にのる労働力は雇用促進協議

は五月と九月の農繁期さえ休めれば向と



寂しくなった勝山

20年で六千三百人の減少

上月一日
行なわれた
国勢調査の
結果本市の
人口と世帯
数は、ま

これにより昭和二十五年から四十五年まで
過去二十年間の人口の動きをたると次の
表のとおりとなりました。

家数がふえていることを物語っています。
人口減少の最も著しいのは北谷町で、二
千人が八百人と六割、家数は五・〇八人

国勢調査

力を希望しており、とくに新卒者の要望が
多く出頭がある。

武内議員の老人福祉として、老人の
職業あっせん、内職指導などを考えていないか

武内議員の公害に対して調査する方
法や設備があるのか。予算上どのように考

総務課長にのる六月に市民生活係がで

石田議員の辺地の道路補修に新市長
は新サービスをどのように考えているか。

市長の副辺地の道路の改良・補
修を強力に進める。

石田議員の地区公民館運営について
地区へのサービスが悪い。若い青少年が魅

市 長にのる指摘のとおりである。

若い人に魅力のあるような運営と施設を考

える必要がある。

石田議員の事務の機械化により各課
の事務の比重が不均等となっている。事務

石田議員の北部土地区副都庁事業の
保留地処分価格は適正であったか。最高

都市計画課長にのる価格は評価委員会
にはかり不定価格を最高三万五千円とした

石田議員の観光開発K・Kが摩訶庵
の観光開発を行なっているが、同社に対す

か。また、同社が黒字になった場合どのよ

公現すべきである。どう考えるか。

産経課長にのる同社へは坪当たり六六に改

検討する。観光経済白書はそのような方向
で作業を進める。

地区	又分	世帯数					対比			人口					対比		
		25	30	35	40	45	25	30	35	40	45	25	30	35	45		
勝山	数	3,734	3,673	3,831	3,845	3,986	6.7	8.5	4.0	18,196	17,508	17,370	17,409	16,821	-7.6	-3.9	-3.1
前	比較	-	-61	158	14	141	-	-	-	-688	-138	39	-588	-	-	-	
平野	数	435	423	425	402	371	-14.7	-12.3	-11.7	2,280	2,262	2,183	2,006	1,742	-23.6	-23.0	-20.2
前	比較	-	-12	2	-23	-31	-	-	-	-18	-79	-177	-264	-	-	-	
村岡	数	521	516	552	632	692	32.8	34.1	25.4	2,807	2,792	2,873	2,973	3,030	7.9	8.5	5.5
前	比較	-	-5	36	80	60	-	-	-	-15	81	100	57	-	-	-	
北谷	数	396	375	352	281	214	-46.0	-42.9	-39.2	2,013	1,860	1,704	1,172	802	-60.1	-56.9	-52.9
前	比較	-	-21	-25	-71	-67	-	-	-	-153	-156	-532	-370	-	-	-	
野向	数	370	359	353	310	292	-21.1	-18.7	-17.3	2,084	2,043	1,851	1,534	1,272	-39.0	-37.7	-31.3
前	比較	-	-11	-6	-43	-18	-	-	-	-41	-192	-317	-262	-	-	-	
荒土	数	537	524	529	506	502	-6.5	-4.2	-5.1	3,078	2,920	2,821	2,572	2,374	-22.9	-18.7	-15.8
前	比較	-	-13	5	-23	-4	-	-	-	-158	-99	-249	-198	-	-	-	
北郷	数	601	601	576	550	544	-9.5	-9.5	-5.6	3,258	3,113	2,924	2,729	2,586	-20.6	-16.9	-11.6
前	比較	-	-	-25	-26	-6	-	-	-	-145	-189	-195	-143	-	-	-	
鹿谷	数	738	709	679	666	654	-11.4	-7.8	-3.7	3,708	3,498	3,291	3,046	2,770	-25.3	-20.8	-15.8
前	比較	-	-29	-30	-13	-12	-	-	-	-210	-207	-245	-274	-	-	-	
延羽	数	266	273	289	281	276	-3.8	-1.1	-4.2	1,538	1,560	1,514	1,387	1,264	-17.8	-19.0	-16.5
前	比較	-	7	16	-7	-5	-	-	-	22	-46	-127	-123	-	-	-	
総数	数	7,598	7,453	7,585	7,473	7,531	-0.9	1.0	-0.7	38,962	37,556	36,531	34,828	32,661	-16.2	-13.0	-10.6
前	比較	-	-145	132	-112	58	-	-	-	-1,406	-1,025	-1,703	-2,167	-	-	-	

火災シーズン来る

火の元にご用心

11月26日〜12月2日火災予防運動

整理・整頓し燃えやすいものを近くに
おかない。

十一月二十六日から十二
月二日まで秋の火災予防運
動が展開されます。

日増しに寒さも油くなり
暖房などに火を使うことも
多く、これからはまさに火
災の季節を迎えるわけです

市消防署では、次のこと
を重点目標に運動を進めま
す。必ず実行してください

- ◆家庭・職場での防
火の総点検
- ◆喫煙マナーの確立

たばこによる火事は全国的に一番多くな
っています。

- ・灰皿のない所では吸わない。
- ・痰たばこ、くわえたばこはしない。
- ・吸いがらは投げ捨てない。
- ・薪煙の場所では吸わない。
- ◆消防用設備の総点検
- ・消火器の点検をし、完全なものにしてお
く。
- ・防火水龍は捲上げを行ない、近くに消火
のじやまになるようなものをおかない。
- ・区側交付の消防ポンプを点検する。
- ・道路に消防車の通行にじやまになるよう
なものを置かないように注意する。
- ◆焼死事故の防止
- ・仔寄りや病人は、出口の近くの部屋に棲
ませる。
- ・寒る時はいつも枕元に覆舟を用意する。
- ・二階で暮る時は、階段だけでなく、窓か
らでも逃げられるよう避難ロープを準備
する。

勝山の織物業

〈人絹織物への転身〉

このように人絹糸の出現によって、価格
の高い変化の激しい生糸(太直3・8・13
年に生糸大暴落、その後には機織好況)を
避けて人絹系織物の生産へ進むものがふえ
人絹糸の改良とを因に引きがけての機織の
改良、動力化(大正年間には動力化が終っ
た)にともない、興試験場は大正12年人絹
糸の性質とその取り扱い法を発表して、機
業家の活躍向上に努め、業者は大きい刺激
を受け、ようやく注目するところとなった

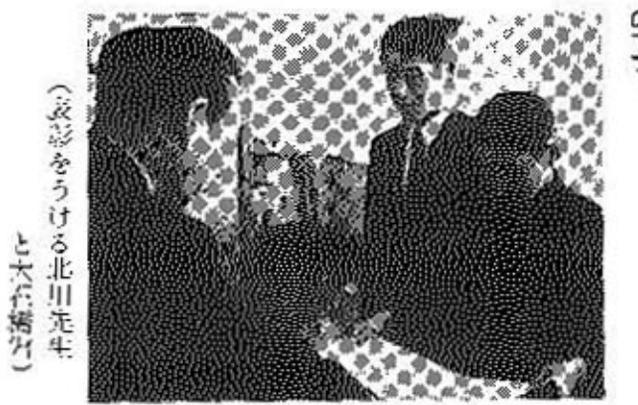
生糸、絹紡、人絹糸、綿、毛(モスリン)
などのタテ、ヨコ交織品から人絹糸だけの
織物が然糸技術と平行して完成されていっ
た。そして昭和五年、福井県の人絹織物生
産は全国の六十七パーセントに達し、その
産地のうちには、中国を主要市場とした、
インド、オーストラリアの輸出が盛況をき
わめたからであった。

昭和12年勝山の全機械台数約一万台の中
うち八千台が人絹織物を生産した。このこ
ろ福井県は全国長機織機織物生産量の約半
分を生産し、

機織台数 二、九三四工場(昭和12)
機織台数 九三三、一五二台(昭和14)

という機械織機を通過しての最高記録した

しかし昭和三年の金融恐慌、同四年のア
メリカの恐慌、六年の滿州事変、いくつか
の国内外政変、十二年の日支事変、十六年
の大平洋戦争、そして終戦へと、国政、経
済の統制時代を迎え、市内の機業の中では
雇業する者のほか、平和産業の重要産業化
によって軍需衣料、パラシュート、婦人に
よる綿質管理、絹、人絹の織機、ジャカ
ードトビ、織り、然糸などの高級品用設備
内地向け小中規模などの設備による狭くす
供給、工場建物の軍用倉庫への転用、青少
年の兵器工場への徴用、原糸の割当配給制
度金統制、企業設備など日をおおる予想外
のできごとが山積されていった。



(表彰をうける北川先生 と大石橋君)

豆消防士を表彰

市消防本部では、十
一月十三日市民防火の
日に、消防協力者とし
て、北谷小学校五年
六年の児童大石橋君一
君ら十九名を表彰しま
した。

十月二十五日鹿谷小学校で行なわれた鹿
谷町民体育大会は好天に恵まれ五百の人が
参加し大盛況でした。

人気集めた 仮装競争

鹿谷町



(保田出村婦人公交連安全の仮装の)

票字訂正とお詫び
十月二十日発行の市広報一七二号印刷字
がかりましたので、次のとおり訂正しお詫
びします。
一「スー」見出し「絶滅」を「絶滅」に充
行者「山内藤」を「高野泰三」で四ページ
三頁「絶滅」を「絶滅」に



お知らせ

*コーナー

新成人の健康検査日程

新成人の健康検査を次のとおり行ないます。該当者は必ず受検してください。

とき 11月26・27日・12月6日の9時～16時
ところ 勝山保健所
受検費当番

昭和25年1月1日から昭和25年1月15日まで生まれた方

「成人の主張」論文募集

新しく成人となられた方を対象に論文を募集しています。

論文の課題

- ①成人として思うことと働くことの上りこび
- ②こんな人生を歩みたい
- ③こんな社会を築きたい
- ④はたかどの夢
- ⑤この中から二題を選び、一人一題に選ります。

応募資格

昭和25年1月1日から昭和25年1月15日まで生まれた勝山市民

応募の方法

四〇〇字用紙(タテ書き)は一枚以上六枚以内、氏名、性別、住所、職業、勤務先を明記した書類を添えること
提出期限と提出先
昭和46年1月5日(火)午後5時まで
〒411 勝山市役所社会教育課まで

「勝山の歴史」正誤表

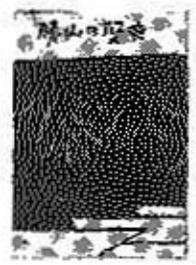
最優秀1点、優秀2点、佳作3点
入選者は成人式当日表彰します

さきに刊行した「勝山の歴史」の記事中次のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

頁	段行	誤	正
294	下3	右岸	左岸
294	下4	左岸	右岸
345	上6	五億三千万	五億七千万
359	上3	改発	開発
360	上1	改発	開発
14	表	右岸は吊橋	左岸は吊橋
34	左岸	右岸	左岸

「勝山の歴史」の

「意見」をどうぞ



勝山に於いて生まれた郷土の京型といふべき勝山の歴史の軌跡を因かきつてくたさい。

出版費は発行会が、みなさんの協力を

のあと発行予定の「勝山市史」編さんの参考にしたと考えていますのでみなさんのご意見や批評を社会教育課まで、どしどしお寄せください。
また掲載された記事や写真以外に、貴族な筆蹟や文書などお持ちの方はぜひ提供くださるようお願いいたします。

市民課

子宮ガン検診を 受けましょう

市国保では今年も子宮ガン検診を実施します。これは家庭でひとりで行える簡易な検診です。昨年実施して病気を早期に発見できた人もあり好評だったので市連合婦人会の協力を得て実施します。国保に加入していない方でも直接市役所保健係へ申し込んでください。

くわしいお問い合わせは市役所保健係へ。
1、日時 十一月二十日～二十一日
2、検診料 器具代と検診料と合せて、四百二十円。そのうち国民健康保険補助二百三十円で本人負担は二百円です。

子宮ガンはガンの中でも早期に発見すれば治癒率の高い病気ですから症状がなくても一年一回の定期健康診断は必ず受け取ってください。
1、月経以外の出血
2、変わったおりもの
3、月経の異常
4、下腹部の不快感・痛み

のある方は必ず受けましょう。

衛生課

ゴミは袋につめて...
除雪期のゴミ収集を効果的にすめるため、次のことに協力をお願いします。
・ゴミは必ず袋か箱などに詰めて、決められている場所へ持ち出す。
・袋が困難な木の枝などは、適当な長さにして結束しておく。
・土壌・建物に固定してあるため、取り出し困難なゴミ箱のゴミは、持ち運びできる状態にしておく。
・ガラスなどの危険物はゴミと混ざらないように。
・ゴミ袋は大きさが10kg以上になると、破れて散らばりますので注意する。
・川へは絶対にゴミを捨てないよう。

し尿の汲み取りは早めに
冬が近づきました。便所の汲み取りは早めに行なう必要があります。処理場の能力に限りがあります。年末になって業者の汲み取りを急がれても受け入れることができない場合があります。
便桶の容量が満ちるまで早めに行なわせておきましょう。

米寿を祝い記念品
郵便局では米寿(88歳)を迎えた方に郵政大臣から米寿を祝う金巻と祝いの書状を次の方々に贈りました。
国民の健康増進を願ってつくられた簡易除雪車ははじまってからとして五十四年、加入件数四千四百万件、契約高九兆一千億円、安全二兆二千億円となりました。

このようならは嬉しい御祝いは、明治・大正・昭和の三代を社会の中継として生きてこられた人たちの協力によるものであり、今後も健康で白寿(九十九歳)の喜を迎えてほしいという意味で贈ったものです。
横田喜代松(本町四)、細川こま(野野町一)、黒田ステ(飛土町市)、中村大平松(同慶)、飯田わか(村岡町黒原)、渡邊はつ(同津土寺)、荒藤こま(蓮羽町蓮生)、田部すみ(蓮谷町矢口)

年賀状は12月22日

小包は15日までに

郵便物は六月から郵便番号で動いています。番号は正しくはつきり書いてください。さてことしから年賀状は、都道府県名を略してもかまいません。差し出しの際に市内・県内・外の二方面に宛ててください。
郵便外務員募集
郵便外務員を募集しています。申し込みは十二月一日から一月九日までです。くわしくは郵政局へおたずねください。

大野市に

5局ク誕生

11月20日から大野市に新しく市内局番5局が誕生しました。このため現在の6局と新しい5局の二局になります。新番号はくわしいおたずねのうえおたずねください。

電話局

郵便局

郵便局では米寿(88歳)を迎えた方に郵政大臣から米寿を祝う金巻と祝いの書状を次の方々に贈りました。
国民の健康増進を願ってつくられた簡易除雪車ははじまってからとして五十四年、加入件数四千四百万件、契約高九兆一千億円、安全二兆二千億円となりました。